



日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

www.alpajapan.org

Date 2008.7.3 No. 31 - 68

発行:日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan
幹事会
〒144-0043
東京都大田区羽田5-11-4
フェニックスビル
TEL.03-5705-2770
FAX.03-5705-3274
E-mail:office30@alpajapan.org

乗員計画破綻による大量欠航便問題 スカイマーク乗員組合の指摘や要請を無視し続ける スカイマーク西久保社長

スカイマーク乗員組合は結成依頼、プロパー機長の養成促進等の乗員計画問題や乗員不足による過酷な勤務条件の緩和、整備体制等の安全問題、低賃金の改善等について要求し繰り返し団体交渉開催を要請してきています。さらに本年3月には団体交渉開催に向けた労働委員会斡旋に合意したにもかかわらず、未だに団体交渉は開催されず交渉開催に向けた事務的な話し合いさえも経営は拒否しています。更に西久保社長をはじめとしたスカイマーク経営は交渉拒否だけに止まらず、組合員への組合脱退強要や組合活動を理由にした執行委員長への年度末一時金の未払い等々不当労働行為を繰り返しています。

6月2日にはNHKをはじめとしてテレビ各局や新聞社から、スカイマーク社の大量欠航便に関わる経営問題について多くの報道がありました。この問題はスカイマーク乗員組合結成が結成以来指摘してきた「乗員不足」による事業計画の破綻であり、「たった2名の機長の退職による一時的な問題」ではありません。

一連の報道でスカイマーク社内では経営の破綻を危惧する声が強まっていることから、乗員組合は経営に改めて団体交渉の開催を求めました。しかしながら経営はなんと委員長個人名宛に以下のような珍回答？を社内のインターネットを通じて行っています。

高木豊君へ

再三再四、名簿の提出を求めているのに一切返答も提出もしないのはどういうことなのでしょう。君が誰の代表なのか分からないのに話し合いはできないでしょう。こちらの問いかけには応えずに自分の要求だけをいうのは社会人としての常識に欠ける行為です。自分たちさえ良ければいいような要望書を出したり、団交をしても自分たちに都合の悪い結果になると「あれは団交ではない」と言ったり、そんな君が全社員の気持ちを語るのには冗談がすぎるのではないのでしょうか。

社員の皆さんへの説明は今週に予定しているマスコミへの説明会が済んでからCooBeeにて掲示します。当社は株式公開企業であり社内外で情報格差が生じるとインサイダーを助長する行為とみなされる可能性があるのて開示時期を揃える必要があります。経営者に意見をするのであればその程度の経営の常識は知っておいてください。

今回の欠航は機長の人員不足が原因であり、副操縦士の問題ではありません。従って本件に関して副操縦士の皆さんの何かが変わるということはありません。今まで通り健康に留意し安全運航に努めてください。

国土交通省からは「労組系の議員や団体から執拗に追及され、マスコミがそれに乗じて騒いでいる」との報告がきています。このような時期にこんな要求を出すのは、あたかもそれらの団体と連携しているような印象を周囲に与えるのではないのでしょうか。自分が楽目に晒されていることを自覚して行動すべきかと思えます。

西久保慎一

以前から社長は日乗連への批判を行ってきましたが、この文書の中でも国土交通省の発言として日乗連への批判も行っているようです。

日乗連はスカイマーク乗員組合の活動を従来以上に支援するとともに、スカイマーク経営による日乗連批判に対しても国土交通省との交渉等を含めて積極的に取り組みます。

